



忍ヶ丘だより

宮崎学園短期大学

発行
学校法人宮崎学園
宮崎学園短期大学
編集
学生募集対策委員会
〒889-1605 宮崎県宮崎市
清武町加納丙1415
電話(0985)85-0146

- 保育科
- 初等教育科
- 音楽科
- 人間文化学科
- 福祉専攻
- 音楽療法専攻
- 文化ビジネスコース
- 国語国文コース
- 医療事務・医療秘書コース

今号の特集は
教員養成です。

夢の実現と不屈の精神
初等教育科長 松野 隆

本年度の教員採用試験に、本学過年度卒業生6名(宮崎県5名、大阪府1名)が合格されました。内訳は、平成16年度卒1名、17年度卒1名、18年度卒2名、19年度卒2名です。

これらの方々には、卒業後、3年〜6年の間、臨時的任用講師など教育関係の仕事に携わりながら、教員という夢の実現のために不屈の精神を失わず今回の快挙をなす遂げられたものです。心からお祝い申し上げます。

また、惜しくも今回、あと一步で朗報を手にする事ができなかった方々には、来年度、不屈の精神で夢の実現に向けて力を発揮していただくよう期待しています。私たち先輩方の姿を、在学生に伝えながら、よき伝統を守って行きたいと思っています。

卒業生の輝きに感謝
学長 山下 忍

宮崎学園短期大学は、一九六五年に若者への教育を開始して以来、間もなく二万人に達する人材を世に送り出してきました。その一人ひとり、本学にとつてかけがえのない宝ですが、その宝物は、地域社会においても、大きな光を放ってきたと自負しています。

本学卒業生が、一般企業はもとより、保育所、幼稚園、そして、小学校、中学校において、幼児や児童生徒の教育上、いかに多大な役割を果たしてきたか、それは、県内の保育現場教育現場に一步足を踏み入れてみれば、即座に理解のいくことです。

本学は、開学以来、「礼節・勤労」の「建学の精神」に大きな誇りを抱いています。その誇りのもと、若者の教育に日々当たれることに、言いようのない幸せを覚えています。

夢は必ず叶うと信じて
平成23年度教員採用試験合格!

「情熱と感謝」。この二つが私の夢を叶えさせてくれた言葉です。宮崎学園短期大学で学んだ後、講師経験を積みながら六回目の試験で合格することができました。私が、夢を実現させるために必要だと感じたことは、一つあります。

一つ目は、「必ず教師になる」という情熱を持ち続けることです。採用試験に向けての勉強を続けていくと、辛く苦しい時期がやってきます。集中できないと感じた時は、休みに子どもたちと泳いだり遊んだり、ジムに行ったり泳いだりしたり、リフレッシュすると、夢のために向かっているのだと再確認することができました。

二つ目は、「感謝」です。私は周りのたくさんの方々の支えにより試験勉強を乗り切ることができました。温かく見守ってくれた家族、励ましてくれた友達、助言や指導をして下さった先生方、そして、一緒に勉強をした良きライバル達。私はひとりでは頑張っているのではない、ということを感じ、周りの人たちに感謝した一年でした。

試験会場で緊張したとき、私は今まで勉強してきたことや支えてくれた人たちの思い出を思い出して、「わたしには、みんながついていて!」と心の中で何度も繰り返して、目には見えない力に後押しされながら試験に臨みました。

「私はひとりじゃない」と思えることは、試験だけではなく生きていく上で大切なことだと思えます。今度、私自身が子どもたちの支えになれる教師になりたいと思っています。講師をしながら試験勉強をするということは、大変難しいことだと思えます。しかし、今していることすべては無駄にはなりません。いつかは必ず夢が叶うと信じて頑張ってください。応援しています!

幼稚園に内定!
夢への第一歩

幼稚園の先生になることが私の夢でした。短大に入学した頃は、自分が何になりたいのか分からず悩んでいました。私が決心したきっかけは幼稚園実習でした。自分が子ども達の前に立つて保育をすることができると不安でしたが、子ども達の元気な姿や、先生方が熱心に子どもと向かい合っている姿を目にして、自分も子ども達の成長の手助けとなる保育をしたいと思うようになりました。子ども達の成長を見続け、子ども達の新しい出来事への出会いに立ちあえる幼稚園の先生にやりがいを感じました。

幼稚園に採用を頂き、私は今やつと夢への第一歩を踏み出すことができました。自分の持っている力を確かめながら、もっと新しい幼稚園の仕組みや、知識を学びたいと思い、幼稚園を決めました。短大で学んできた事や実習で見た子ども達の目の輝きを忘れず立派な幼稚園の先生になりたいです。

就職内定おめでとう

平成22年度 主な内定先

- 運輸・通信業**
JR九州旅客鉄道
旭化成アミダス
サンライズネットワークス
- 卸売・小売業**
岩田産業、晴峰商事
- 音楽教室等**
カワイ音楽教室
- 建設業**
第一建設
- 医療・保健業**
古賀総合病院
西都児玉眼科
大山脳神経外科クリニック
尾池歯科医院
平山こどもクリニック
宗正病院、二葉薬局
石井皮膚科医院
宮崎医療センター病院
庄原眼科
薬研調剤薬局
- 保育園**
あけぼの保育園、あさひ保育園、あゆみ保育園、おひさま保育園、しほり保育園、ちどり保育園、ドンボスコ保育園、ピノキオ保育園、ひまわり保育園、ふたば保育園、つばき保育園、加納ひまわり保育園、花ヶ島北保育園、祇園保育園、宮崎至聖保育園、宮崎福祉会保育園、恵愛保育園、権現乳児保育所、江平保育園、高洲保育園、昭和保育園、清武福祉会保育園、こひつじ保育園、大田原保育園、大田保育園、島之内保育園、働馬寄保育園、内山保育園、八幡保育園、飛江田保育園、霧島保育園、木花保育園、たかふさ保育園、さかえ保育園、にっしん保育園、国富東保育園、本庄西部保育所、ひがし保育園、黒田保育園、銀杏の会保育園、浄信会保育園、西小林保育園、こどもの家保育園、十文字保育園、いなり保育園、さつき保育園、すずらん保育園、たんぼ保育園、ひかり保育園、ぼっぴ保育園、下長飯保育園、山野原保育園、志比田保育園、並木保育園、都城社会福祉協議会保育園、都北保育園、東郷の森保育園、大東中央保育園、門川保育園、つくしんぼ保育園、ゆりがこーろ保育園、わかさ保育園、わかたけ福祉会保育園、杉の子保育園、えびの福祉会保育園、加久藤乳児保育園、綾保育園、アソカ保育園、ひばり保育園、円乗寺保育園、双葉保育園、大崎・南光保育園、東原保育園、白鳥保育園、菱田保育園、野方保育園、あかつき保育園、城北保育園、友洲保育園、にじいろ保育園、鶴こどもの森(保育園)、鶴こピーアンドアソシエイツ保育園、鶴モード・プランニング・ジャパン雲母保育園、昭徳保育園
- 不動産業**
㈱ユーワホームズ
- サービス業**
あおぞら農業協同組合、ダスキン佐原
宮崎総合整備、宮崎山形屋、宮崎神宮
都城ドライビングスクール
菓子工房パティスリー・ショパン
県警カラーガード隊員、宮崎中央郵便局
合歡のはな
- 金融・保険業**
鹿児島銀行、宮崎太陽銀行、高鍋信用金庫
- 福祉施設**
皇寿園、サンビュー宮崎、寿幸園
ふじ野園、しらふじ、フェニックス
サンフローラみやざき、住之江
清友の里、ヴィラ・サザン、三愛園
ことぶき苑、ひなもり園、まりあ
エリシオン宮崎、望洋の郷、白浜学園
ナーシングホーム田上苑
早稲田エルグリーヘルス事業部
みさかえ学園、金鈴学園、青島学園

平成24年度 入試日程

入試区分	特待生推薦入試	推薦入試 (指定校推薦)	一般入試(一期) 外国人留学生入試 社会人入試(二期)	一般入試(二期) 社会人入試(二期)	大学入試センター試験 利用入試
	専攻科入試(一期)	専攻科入試(二期)	専攻科入試(二期)	専攻科入試(三期)	
出願期間	平成23年 10月19日(水) 10月25日(火) 12時必着	平成23年 11月2日(水) 11月9日(水) 12時必着	平成24年 1月12日(水) 1月24日(火) 12時必着	平成24年 3月1日(水) 3月23日(金) 12時必着	平成24年 3月1日(水) 3月21日(水) 12時必着
試験日	平成23年 11月1日(火)	平成23年 11月15日(火)	平成24年 2月1日(水)	平成24年 3月24日(土)	平成24年 3月24日(土)
合格発表	平成23年 11月11日(金) 12時発送	平成23年 11月25日(金) 12時発送	平成24年 2月10日(金) 12時発送	平成24年 3月26日(月) 17時	平成24年 3月26日(月) 17時
入学手続締切	平成23年 11月30日(水) 12時必着	平成23年 12月15日(水) 12時必着	平成24年 2月29日(水) 12時必着	平成24年 3月30日(金) 12時必着	平成24年 3月30日(金) 12時必着

(専攻科入試二期、三期は定員に欠員がある場合のみ実施します。)

本学独自の奨学生制度(返還不要)

- 1 特待生推薦入試(全学科共通)**
在学中の学費の内、授業料の全額(1,080,000円)が免除されます。ただし、1年次の成績及び学生生活を考慮して、2年次にはこれが取り消されることもあります。特待生に採用されなかった場合でも、成績優秀者は、選考審査のうえ本学学生として受け入れます。その際の[入学手続締切日]は、特待生推薦入試合格者と同じになります。なお、この特待生に採用されなかった場合「奨学生制度申込書」を提出していただければ、以下の免除制度の選考対象となります。
- 2 授業料及び入学金の免除**
「長期履修学生入試」以外の入試が対象となります。成績等に応じて、以下の3種類の免除があります。
①入学年度授業料の全額(540,000円)が免除されます。(10名程度)
②入学年度授業料の半額(270,000円)が免除されます。(10名程度)
③入学金(200,000円)が免除されます。(30名程度)
- 3 親・兄弟姉妹等奨学生**
兄弟姉妹が本学に在学又は卒業している者、父母が本学に在学又は卒業している者は、入学金の半額(100,000円)が免除されます。
- 4 遠隔地奨学生**
沖縄県及び離島地出身者を除く地域で、自宅から通学が不可能と思われる地域(宮崎県西臼杵郡及び延岡市の一部、日向市の一部、椎葉、諸塚、美郷、西米良、西都市の一部、小林市の一部、串間市の一部、えびの市の一部、鹿児島県の霧島市以西、鹿屋市以南、その他県外)出身者のうち、経済的理由・成績などを総合的に判断し、入学金の半額(100,000円)が免除されます。
- 5 離島等奨学生**
沖縄県及び九州管内の離島地出身者が対象となります。
①受験に要する交通費を本学の規定により支給します。
②本学に入学する際には、入学金の半額(100,000円)が免除されます。
※上記2~5の奨学生制度は重複できません。
※上記2~4の奨学生制度希望者は出願時に奨学生制度申込書の提出が必要です。
※上記2と4は、選考審査のうえ採用となります。

進学・編入おめでとう

- 大学編入学等** 愛媛大学法文学部、昭和音楽大学音楽科、放送大学教育学部
- 専攻科進学** 宮崎学園短期大学 専攻科(福祉専攻)
宮崎学園短期大学 専攻科(音楽療法専攻)

2011夏のオープンキャンパス
7月10日(日)・8月7日(日)

卒業おめでとう 二年間を振り返って

2年間を振り返って

皇寿園内定



専攻科福祉専攻 梅本 亮 (宮崎北高校出身)

宮崎学園短期大学保育科を卒業後、専攻科福祉専攻に進学し、このたび特別養護老人ホーム皇寿園より内定を頂きました。

専攻科への進学は、進学したいという自分の意志と先生からの勧めがあったからだったのですが、入学時ははつきりとした目標をもっていないまま進んでいました。介護を学び始めた最初のころは、進路についても高齢者施設と保育園/幼稚園で迷いがあり、今自分が介護の勉強をしていることに不安を感じ、実習を重ねるにしがたが、介護の魅力にひかれ、方向を定めて就職活動ができるようになったことが今回の内定獲得につながったのだと思います。

何か自分に納得がいかず、講義を受けていても実習中でも、わからないことはばかりで不安に押しつぶされそうになったとき、私が心がけたことは「考える」。そして、何かを「感じる」ということでした。介護をする側、受ける側、それぞれの気持ちや常に自分なりに考えていました。当たり前のことなのかもしれませんが、疑問に思ったり、不思議に感じたりすることをその都度考えることによって、自分の中で介護の魅力が深まり、目標につながり、それが意欲となりました。

感じたことなかで特に介護の魅力になったことは、きれいだと思ったり、悲しく思ったりする心情でした。それらの感受性はこれから大切にしていきたいです。今、自分は何がしたいのか、何を目標にするべきなのか、それらが見つかるときは本当にうれしかったし、目標を掲げることの大切さを改めて実感しました。

責任

鹿児島銀行内定



人間文化学科2年 国語国文コース 松尾彩香 (宮崎南高校出身)

私がこの宮崎学園短期大学に入学して感じたのは「責任」という言葉でした。自分で何の授業をとるか決めなければならぬし、きちんと講義出席して単位をとらなければ卒業ができません。自分の行動一つ一つに責任が伴うこと、それを改めてこの大学で感じました。

就活もそれと同じで、自分の興味のある会社、求人のある会社を自分で調べ、行動しなければなりません。待つていただけでは求人は来ませんし、内定することもありません。この就活で私が常に心がけていたのは、笑顔でいることでした。そして、今振り返ってみると、自分に自信を持つことの大切さを学んだと思います。

四月からこれまで以上に自分の責任というものが大きくなり、重く感じると思いますが、そこから逃げたり、責任転嫁したりせず、仕事にきちんと責任をもった社会人になれるよう努力していきたいです。



私の道

医療法人同協会古賀総合病院内定



人間文化学科2年 医療秘書コース 黒葛原 りえ (宮崎学園高校出身)

医療機関への就職を目標に高校時に簿記検定一級等、五つの資格を取得し短大の医療秘書コースを選びました。二年間という長いようで短い月日の中で、特に実習ではチーム医療の素晴らしさや社会の厳しさを体験し、時には助言をいただき、失敗する度に何かを得る事で成長へ繋げる事が出来たと思います。

そして目標としていた医療秘書の内定をいただく事が出来たのでとても嬉しく思います。これからは、弱い立場の患者さんの気持ちに寄り添い不安を取り除ける様なスタッフとしてチーム医療に加わっていきたく思います。その中でも辛く厳しい事もあると思いますが、しっかりと受けとめ、自分のものにしていきます。

最後に先輩の皆さん、それぞれ平等にチャンスが与えられています。自分が一番いいと思う方向にそのチャンスを生かしていただ下さい。残りの短大生活で自分の納得がいく道を探してみてくださいね。



宮崎学園短期大学フェスティバル



●12月4日(土) ●イオンモール宮崎・イオンホール



●12月12日(日) ●イオンモール宮崎・イオンホール



●12月5日(日) ●大坪記念ホール



●12月12日(日) ●イオンモール宮崎・イオンホール

保育科

保育フェスティバル大盛況 368名の参加

2歳未満児と2歳以上児の年齢別に2ヶ所のコーナーをつくり、年齢に応じたイベントや自由遊びコーナー・製作コーナーなど、学生が考えた盛りだくさんの内容で実施しました。各コーナーともに笑顔の絶えない、子どもの顔の輝きあふれる催しとなり、「楽しかった。子どもがとても喜んでくれた。」などの嬉しい感想が寄せられました。

初等教育科

みんな楽しかったね!!

初等教育科フェスティバルでは、ピアノやフルート演奏に合わせて、サンタさんや着ぐるみの学生などオリジナルスタンプが楽しい歌を披露しました。多くの親子の参加があり、おもちや作りをしたり、手作りケーキをもらったりして、子ども達はとても喜んでいました。

音楽科

音楽科ぞうれっしや! 今年も走る!

昨年に引き続き、音楽科フェスティバルで、「ぞうれっしやがやってきた」を上演しました。今回は、学外の子ども合唱団と一般合唱団との協演で、4歳から70歳以上の人が一つになって、命の大切さや戦争の悲惨さなどを音楽を通して感動的に発信することができました。第一部では、管楽器のアンサンブルを響かせ、学生による企画進行など好評でした。

人間文化学科

ひとりひとりがたくましく

人間文化学科のフェスティバルは、初等教育科と合同で開催されました。本番当日は午前午後ともお客さまがどつと来てくれたというわけではありませんが、学生たちは、チラシを何度も配りに行ったり、「まず身内でもり上がって、楽しい雰囲気をつくりましょうよ!」と急遽プランを変更してくれたり、頼もしい限りでした。

心に残るキャンパスライフ

吹奏楽、合唱、ソロ 今年も大活躍!

吹奏楽部は、井手先生の指導でめき力を発揮!九州大会銀賞!合唱団は23名という少人数ながら、全国大会銀賞!個人では、門脇李奈さん(研究生)が宮崎ピアノコンクールで優秀賞獲得!宮日音楽コンクールでも、中村翔太さん(研究生)とともに本選出場果たす!宮日優良賞の門脇さんは、「コンクールで日頃の練習の成果を本番で出すのは難しいが、やりがいのある自分との闘いであり、自分の音楽の再発見です。」と話しています。(音楽科長 末平浩康)

入学予定の高校生と交流しました!



本学では、インタビュー入試と推薦入試に合格した入学予定の高校生を招き、学生チューターや教職員との交流を深める入学前教育スクーリングを行っています。3年目となった今年度は、第1回は12月25日(土)に、第2回は3月4日(金)に行いました。このうち、第1回のスクーリングには、156名の高校生が参加し、自己紹介ゲームや入学前学習課題のシェアリング、そして学科別企画などを通じて、交流しました。また、学習課題を高いレベルで達成している高校生には級の認定を行い、42名が認定を受けました。終了後のアンケートでは、「入学することに對して不安がなくなった」という意見が多く聞かれました。

また、参加した学生チューターからは「高校生に楽しんでもらえるよう頑張った」といった意見が聞かれ、早くも先輩としての自覚を持つ機会になっているようでした。入学予定者だけではなく、参加した全員にとって充実したスクーリングとなりました。(FD推進委員長 野崎秀正)

神話・古代体験ツアーで 勾玉を作ったよ!!



勾玉制作では、作る難しさを感じたが、昔の人はこういったものを沢山作っていたと考えると、すごいなと思った。私が作る勾玉はある願いを込めながら作ったため、念入りに、とても丁寧に作ることができた。

今回のツアーは、子どもたちに教えていくためにも大切だが、初等教育科の学生一人一人にとっても、とてもよい経験だったと思う。企画してくださった先生方に感謝したい。(初等教育科2年 吉田夏海)

信頼と団結を実感



10月9日(土)から10日(日)にかけて、フェスティバルに向けて、人間文化学科の学外研修が御池青少年の家で行われました。

第一日目は、信頼感を高めるゲームからブレインストーミングへ、そのあとに菓作り、夕飯のカレーづくりと協力してお互いの「作品」を楽しみました。その後学科長の講演で一日を締め、二日目は、企画発表会が行われました。参加した1年生は、他のコースの人たちとも仲良くなれた「幽霊部員みたいなの」をしてしまおうと大変だと実感したなど、自分の世界を広げることに役立ったようです。(人間文化学科 塚本泰造)